

ふくしま復興再生道路

●福島県復興計画(3次)

- 1 原子力に依存しない安全・安心で持続的に発展可能な社会づくり
- 2 ふくしまを愛し、心を寄せるすべての人々の力を結集した復興
- 3 誇りあるふるさと再生の実現

県土復興を加速させるために事業を重点化

【関連する重点プロジェクト】

- 復興まちづくり・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト
- ・浜通りを始め本県の復興の基盤となる道路等の整備

計画期間：“10年”

本県の復興に向けた戦略的的道路整備

- 特に、避難解除区域やその周辺地域の交通や物流を支える**主要な8路線**を“**ふくしま復興再生道路**”として

ふくしま復興再生道路

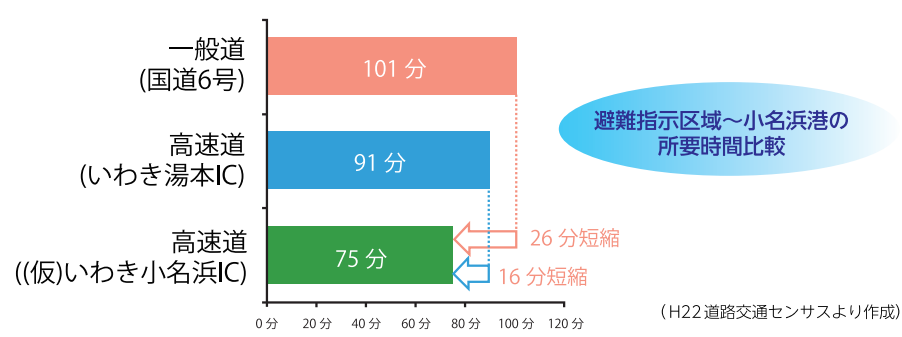
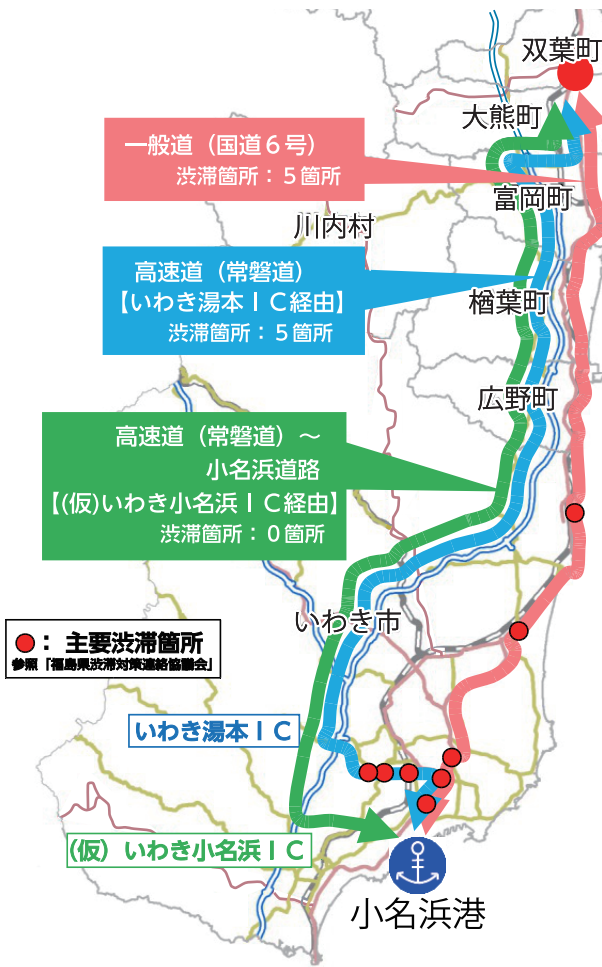
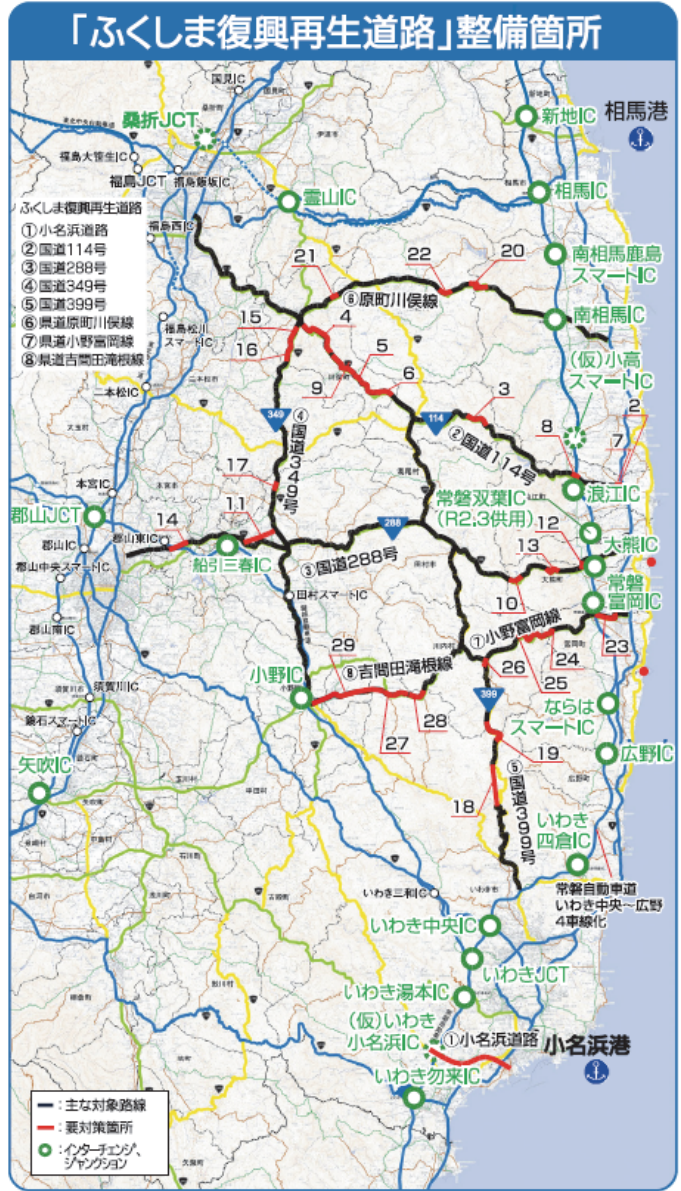
- | | |
|---------|---------|
| ①小名浜道路 | ⑤国道399号 |
| ②国道114号 | ⑥原町川俣線 |
| ③国道288号 | ⑦小野富岡線 |
| ④国道349号 | ⑧吉間田滝根線 |

県と関係機関との連携のもと
“**2020年代初頭までの完成を目指す**”

- 復興に向けた常磐道の追加IC等の整備

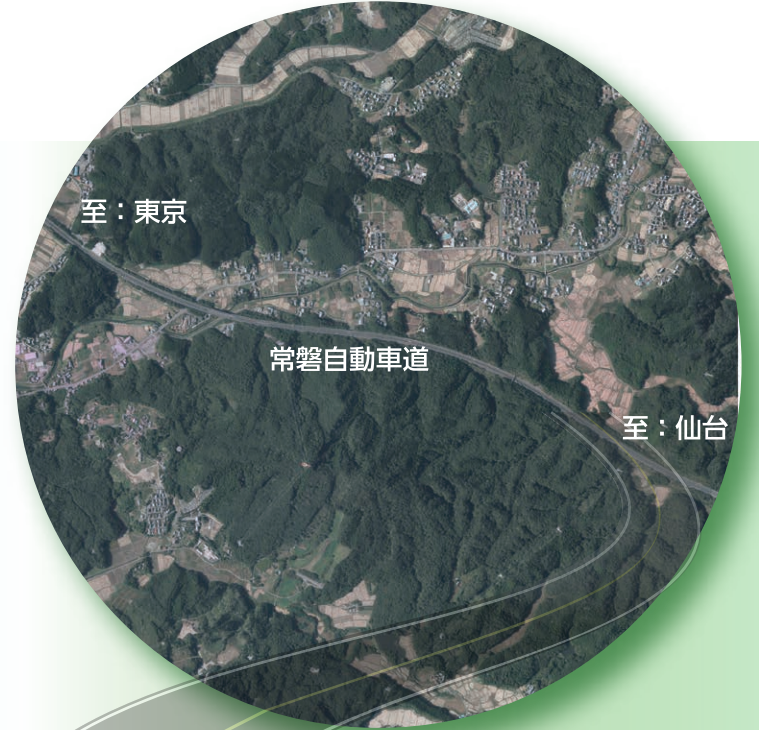
整備効果

避難解除区域等の復興における
**最前線基地として、
小名浜港を物流拠点化**



**避難解除区域等の復興に向けて
強力なバックアップ体制を構築!!**

ふくしま復興再生道路



主要地方道 いわき上三坂小野線

小名浜道路

〔自動車専用道路〕



復興を支え、
未来を拓く道



福島県いわき建設事務所
〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地
電話 0246-24-6036、FAX0246-24-6256
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41380a/>



福島県いわき建設事務所

重要港湾 小名浜港

国際物流ターミナルとして東港地区を整備中

東日本大震災で物資受入港としても大きな役割を果たした小名浜港は、震災以降も、国際バルク戦略港湾（石炭）や特定貨物輸入拠点港湾（石炭）の指定を受け、東港地区における耐震強化岸壁等の整備が進められています。



小名浜港将来イメージ

拠点化が進む 小名浜地区

小名浜道路の整備により 小名浜港背後地等へのアクセス強化を図ります。

小名浜港背後地

アクアマリンパークと市街地を結ぶ、観光・交流の拠点

小名浜港1・2号埠頭地区（アクアマリンパーク）と既存市街地の間に位置する小名浜港背後地の約10.9haの再開発によって、市街地とのアクセスの強化を図り「港と市街地の一体的なまちづくり」の実現に向けて、複合交流拠点や商業サービス拠点、交通拠点が整備されました。



人が集い、留まり、出会いと交流を生み出し、回遊の源泉となる場所として期待されています。



ふくしまを支える交通ネットワーク

ふくしまを元気にするから

県内の主要な港と高規格道路網とを結び、地域の活性化に貢献します。

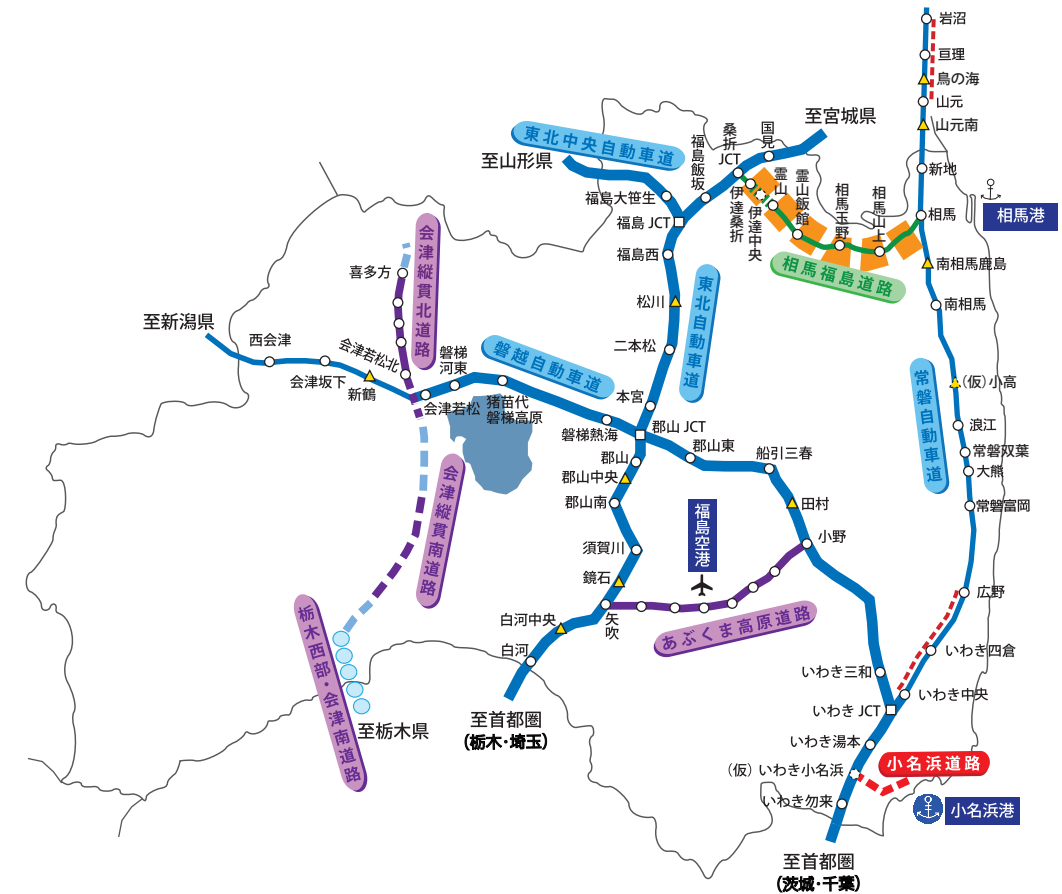
平成27年3月1日に全線開通した常磐自動車道をはじめとする高規格道路網と小名浜港が、小名浜道路の整備により高規格道路で直接結ばれます。

これにより、福島県内の全ての重要港湾及び空港が、高規格道路で結ばれることとなり、国際標準コンテナの陸上輸送にあたり、迂回や積み替えなどによるリードタイムやコストを抑制し、物流面から地域の活性化を支援します。

凡例

高速自動車国道	供用区間	整備中区間	4車線化事業中	基本計画区間
高速自動車国道に並行する一般国道の自動車専用道路	供用区間	事業中区間		
地域高規格道路	供用区間	整備区間	調査区間	その他区間
			候補路線	
インターチェンジ	スマートインターチェンジ	ジャンクション		

(令和2年10月現在)



ふくしまを守るから

小名浜道路によって、防災計画上の物資受入港である小名浜港と既存の高速道路網が高規格道路で結ばれることにより、大規模災害時の交通規制と相まって、内陸部から沿岸部の被災地域への救援活動の展開や、内陸部の被災地への緊急物資輸送などの迅速化に大きな役割を發揮します。

緊急交通路 指定予定路線※	常磐自動車道 東北自動車道 磐越自動車道
---------------	----------------------------

※災害対策基本法第76条第1項に基づき、大規模災害時に人命救助や緊急物資輸送等を的確かつ円滑に行うために警察庁が指定する路線のこと。

凡例

一次確保路線	自衛隊駐屯地
二次確保路線	広域陸上輸送拠点
三次確保路線	物資受入港・空港

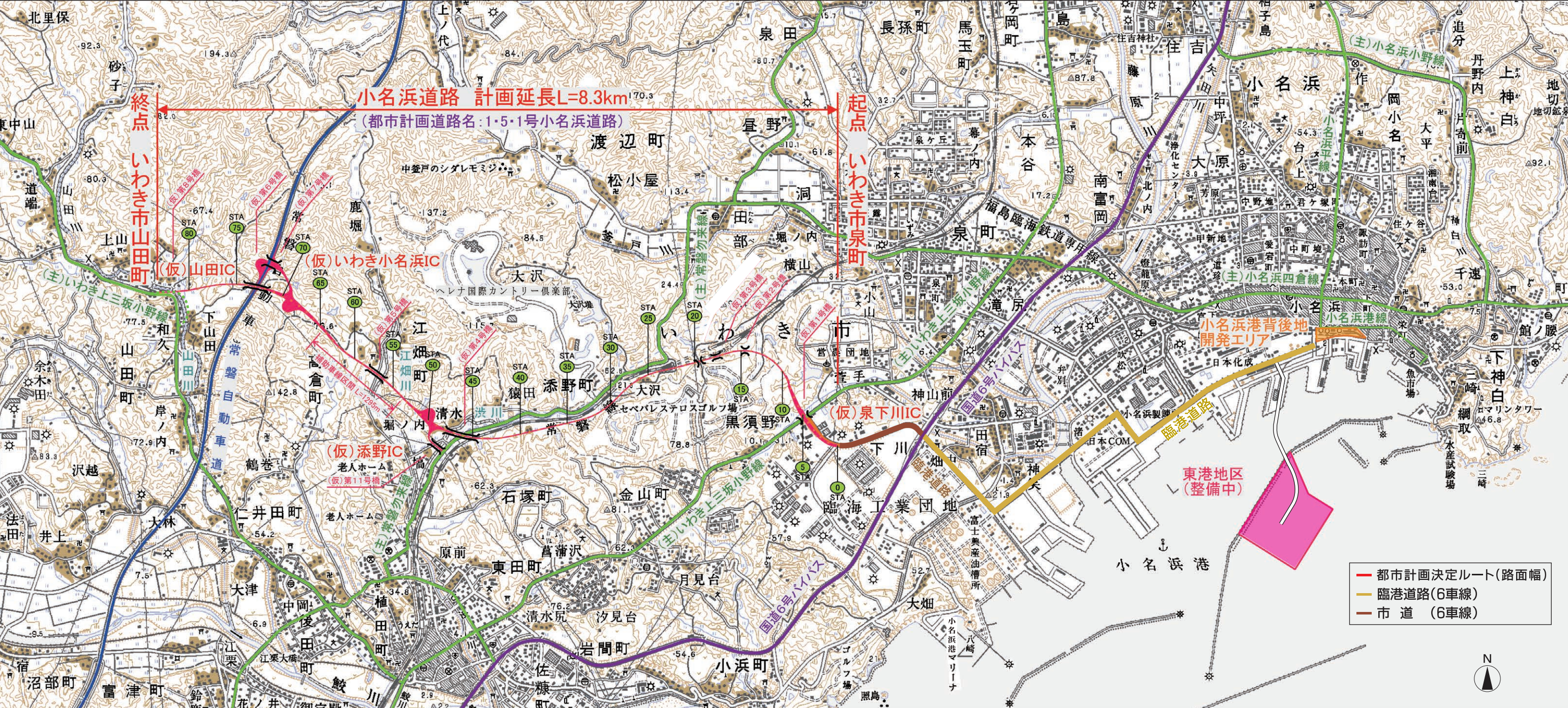
緊急輸送ネットワークを強化し、県民の生命と財産を守り、安全と安心を届けます。

緊急輸送道路網図

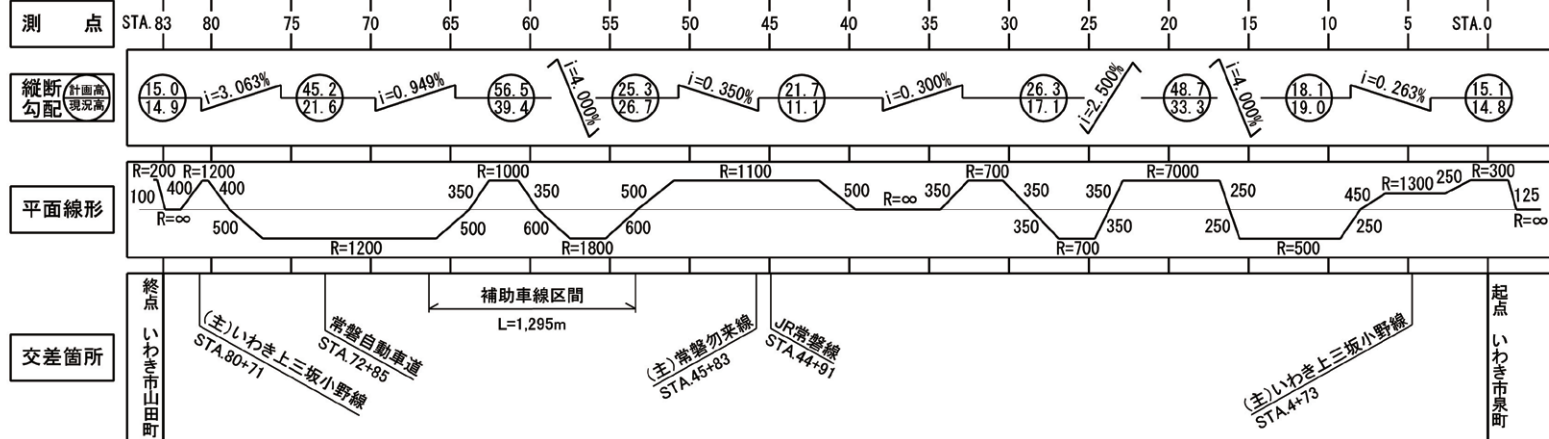


(令和2年10月現在)

都市計画決定ルート(路面幅)

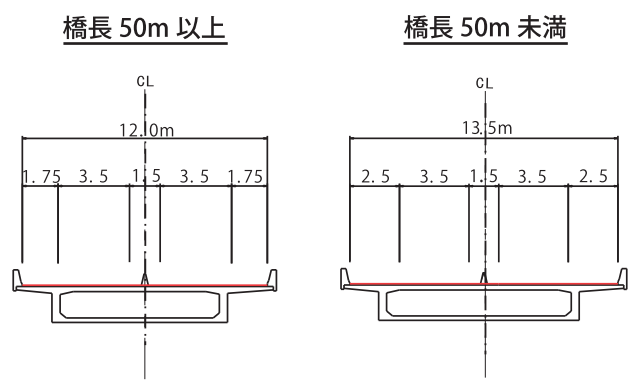


「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000 (地図画像) を複製したものである。
(承認番号 平 26 情複、第 957 号)」

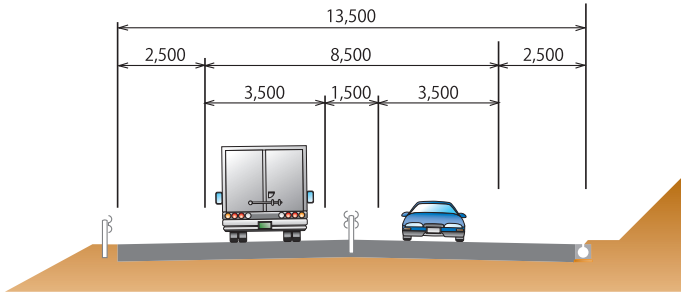


計画縦断勾配

道路幅員 橋梁部



道路幅員 一般部



事業概要

小名浜道路は、重要港湾小名浜港と常磐自動車道を自動車専用道路で結び、広域物流ネットワークの強化によって避難地域の復興を支援するとともに、小名浜港と周辺地域の産業・観光の拠点化を支援します。

小名浜道路は、いわき市泉町を起点とし、いわき市添野町を經由して、いわき市山田町に至る全長8.3kmの自動車専用道路です。

周辺には、小名浜港や工業団地が立地し、加えて、小名浜港背後地において、環境水族館や観光・物産施設といった交流拠点、さらには、再開発がおこなわれ、商業サービス拠点を核とした区画が供用されています。

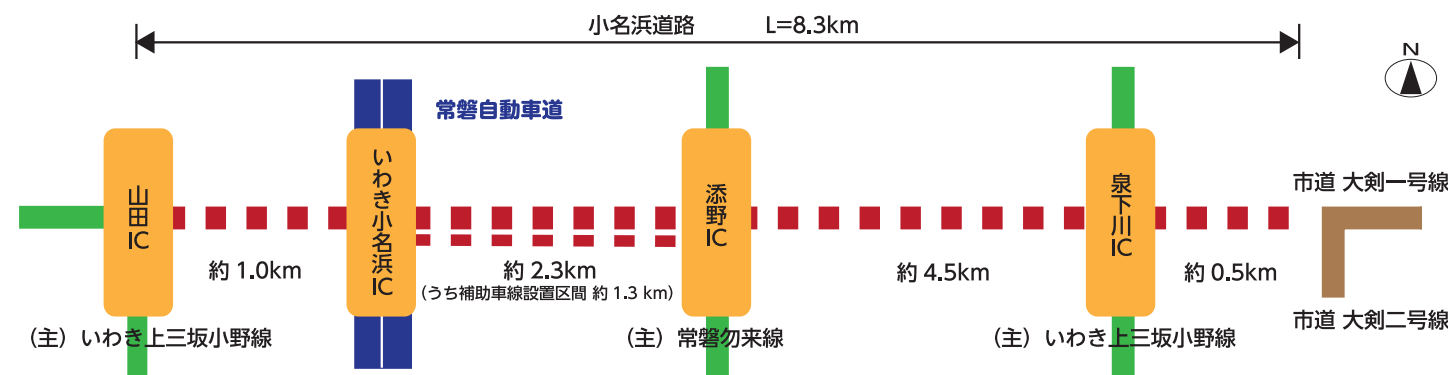
この小名浜港を中心とする地域と常磐自動車道を自動車専用道路で結ぶことにより、物流やネットワークの強化が期待されます。

また、防災面からも、東日本大震災時に緊急物資の受入港として大きな役割を果たした小名浜港と、緊急交通路として、被災直後から救援活動や緊急輸送を支えた高速道路ネットワークを直結させることで、大規模災害時の円滑な緊急輸送を確保することが期待されています。



区間	自) いわき市泉町 至) いわき市山田町	
道路規格	第1種第3級 (自動車専用道路)	
設計速度	80Km/h	
車線数	2車線	
事業経緯	構想発表	平成 24年 10月 23日
	路線発表	平成 25年 7月 28日
	都市計画決定	平成 26年 4月 1日
	常磐道との連結許可	平成 26年 8月 8日

IC名	接続する路線名	接続する位置
泉下川IC	主要地方道 いわき上三坂小野線	いわき市泉町下川地内
添野IC	主要地方道 常磐勿来線	いわき市石塚町餅田地内
いわき小名浜IC	常磐自動車道	いわき市山田町長沢地内
山田IC	主要地方道 いわき上三坂小野線	いわき市山田町埜地内



※インターチェンジ (IC) 名は、全て仮称

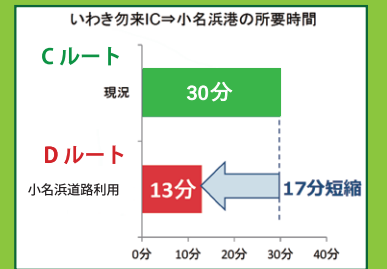
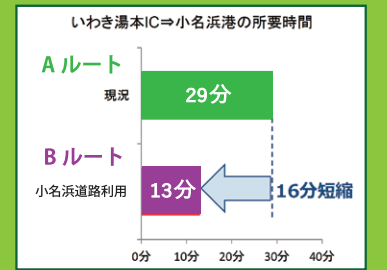
期待される効果

効果 1

所要時間の短縮 常磐自動車道～小名浜港のアクセス時間が半分に短縮



<常磐道の既存ICから小名浜港への所要時間>



所要時間は、H22年センサスの混雑時旅行速度により算定。センサスデータのない市道は、40Km/hで算定。小名浜道路は、設計速度により算定。

効果 2

内陸への物流アクセスの向上 交通の円滑化を通じ、いわき地域のさらなる復興を支援します。

